

第3分科会

『家庭教育支援を社会教育委員 と実践する活動とは』

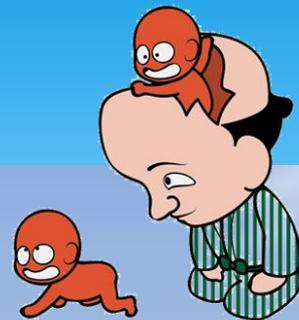
三次市教育委員会 文化と学びの課

主査 高杉 和正

青少年育成指導員 行政 智

平成31年3月2日（土） 広島県生涯学習研究実践交流会

三次市の概要



三次もののけミュージアム



家庭教育支援活動の経緯(きっかけ)

(社会教育委員平成25年度までの活動)

各種団体から14名の社会教育委員で構成

- ・年に2～3回の会議⇒参加が少ない
- ・事務局の報告に意見を述べるだけ

不透明で「見えない」



家庭教育支援活動の経緯(きっかけ)

社会教育委員として

- 責務を果たしているのか？
- 何の役割があるのか？
- 何をすればよいのか？

このままでは委員が必要とされなくなる

改革改善に踏み切る

社会教育委員としての意識改革

社会教育行政の課題と現状を精査

- 社会教育の範囲が多岐にわたる
- 学校教育と比べ基盤が弱い
- 委員の位置づけ存在が明確ではない



教育委員会と議論

委員として焦点が絞りにくい

社会教育委員としての意識改革

何が期待されているのかを委員で情報共有

- ・テーマをはっきりさせ
- ・何が出来るのか
- ・何に焦点を当てるのか

議論の上、任期の2年間の目標・目的として



社会教育委員会会議の改善提案

教育委員会もともに改善に取り組む

社会教育委員としての意識改革

家庭教育支援に取り組んだ経緯

子どもたちの様々な問題解決に学校と家庭のパイプ役として活動



悩み

「家庭教育の推進」が出来ないものか？

社会教育の中で取り上げる課題は「家庭教育の基本的な取り組み」ではないか



独自の研究調査の結果

「家庭教育への支援策」に対する提言書の作成

家庭教育に関する実態調査

「家庭教育に関する提言書」の作成にあたり

- 家庭教育に関する研究調査のためアンケートによる実態調査が必要
- アンケート検討内容「目的・方法・対象・次期・配布回収方法・集計・まとめ・結果の概要 等々」

家庭教育に関する実態調査

- アンケート対象者を小学校3年生と中学校2年生の保護者に絞り実施
- 社会教育委員が各小中学校を訪問しアンケートの配布と回収を行う⇒ (結果) 学校と社会教育委員が地域での関係を深める
- アンケートの結果をまとめ、教育委員会と共に何度も検討⇒ 行政との信頼関係も強くなる

アンケートの分析

「集計および実態の分析の結果」

集計結果から、家庭環境、生活環境、社会環境、等問題点が見えてきた。

「社会教育委員の期待度も見える結果に」

様々な葛藤と大変な労力で提言書を完成

家庭教育に関する提言書 「家庭の教育力向上に向けて」



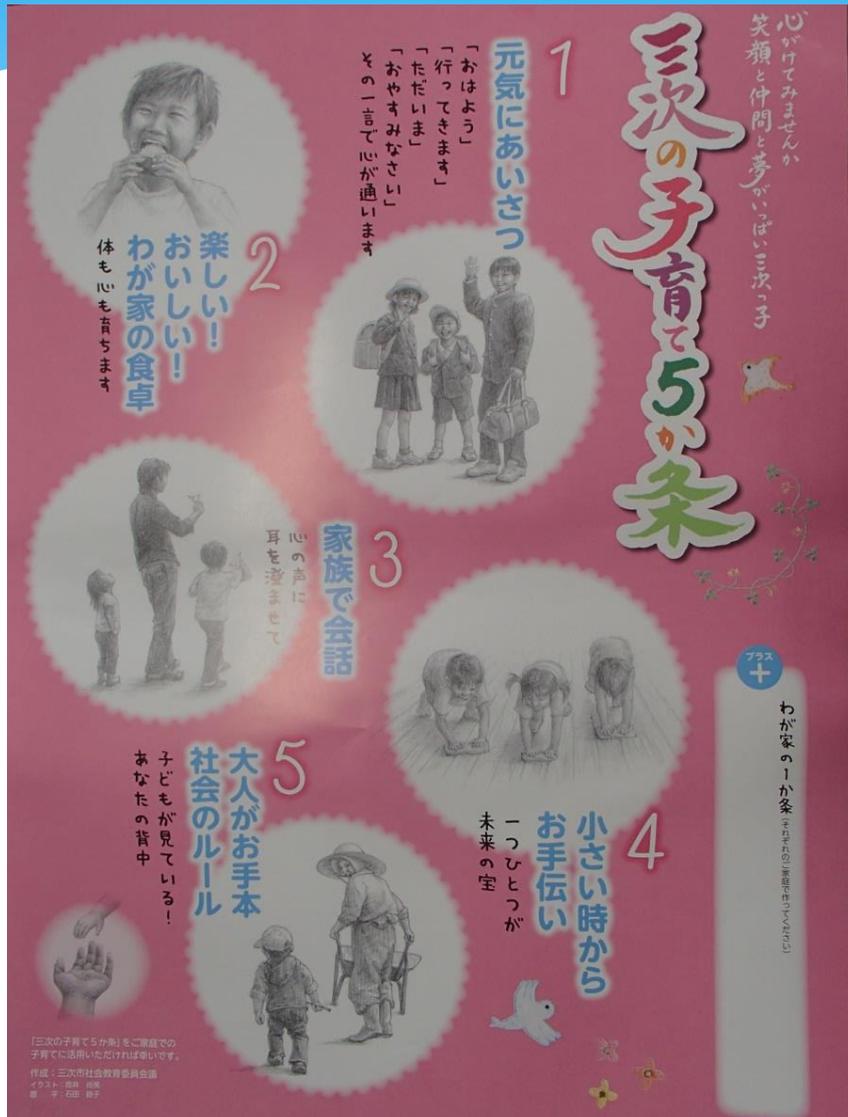
平成27年12月教育委員会へ提出

家庭教育支援の施策の検討



提言書に合わせて家庭教育充実のための啓発活動の一端となるよう「三次の子育て5か条」リーフレットを作成し、市内小中学校、保育所の全保護者に配付

家庭教育支援の施策の検討



「三次の子育て5か条」
ポスターを作成し、市
内の学校、施設、店舗
に掲示のお願いにまわ
る。

提言書を地域に、家庭
にどう生かしていくか
検討を行う

家庭教育支援の施策の検討

子どもの支援に関わる各団体に研修会への参加を呼びかける



民生委員・PTA連
合会・母子保健推
進員・女性連合
会・放課後子ども
教室・保育士・保
健師等, 他機関の
方に参加いただき
ました

家庭教育支援の施策の検討



グループ討議会の様子

家庭教育支援の施策の検討



家庭教育に対する理解を深めることを目的に、保護者を含む、園児、児童、生徒を対象に「わが家の1か条」を募集

家庭教育支援の実践の検討 「家庭教育支援チーム」



視察研修の様子

成果

- 家庭教育支援活動の実績や成果により⇒
市の個別施策事業となり予算化された
- 各学校への訪問等により⇒
学校との繋がりが深まった
- これまでの啓発活動で「家庭教育の大切さ」が認識され始めた⇒
三次市全体での機運が高まった

課題

- 本本当に支援の必要な家庭をどう取り込んでいくのか
- 家庭教育を支援する地域の人材の発掘、育成
- 家庭教育支援団体の組織化

社会教育委員と
「親の力」をまなびあう
学習プログラム ファシリテーター

家庭教育支援を地域で



家庭教育支援事業としての「親プロ」

- * 寄って 話して 自ら気づく
- * 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」
- * (親プロ)



- * 人を育てようとする人であれば、誰もがもっているであろう“**親心**”から発する**力**！

『親プロ』を使ったコラボ講座 I-1



親子とファシリテーターがグループになってゲーム



親子と読み聞かせボランティアとファシリテーターがグループになって読み聞かせ

『親プロ』を使ったコラボ講座 I -2



ボランティアによる
絵本の読み聞かせ



絵本50冊の中からいろいろ選んでいます

『親プロ』を使ったコラボ講座 Ⅱ



保育士による手遊び



手作りおもちゃ作り

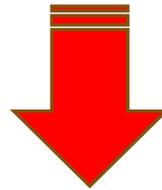
『親プロ』ファシリテーター養成講座



グループごとに模擬講座を実践

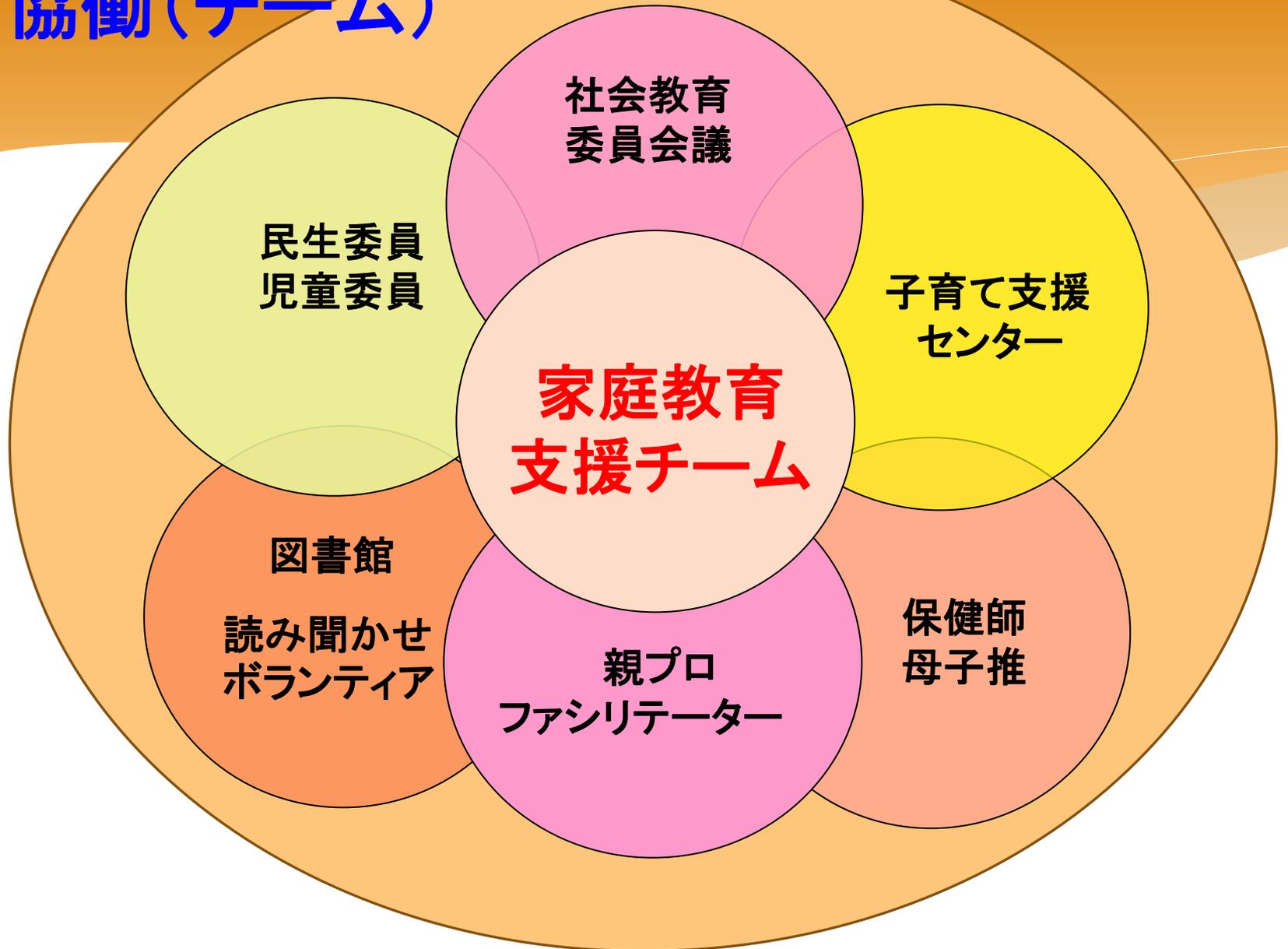
社会教育委員の動きと 『親プロ』ファシリテーター

- * ・子育て中の保護者の悩み
 - * ・行政や地域の子育て
 - * ・家庭教育支援の課題



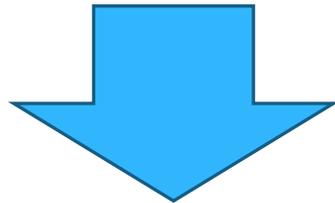
- * 地域みんなで子育て 地域で支える

協働(チーム)



今後に向けて

- 子どもを取り巻く家庭や社会の問題も複雑化しており今後の活動も議論していく必要がある



今後の取り組み

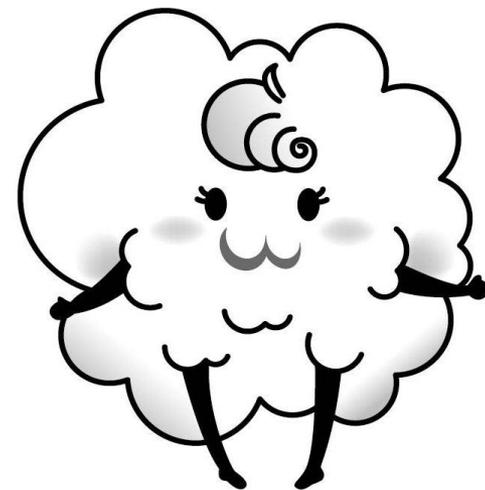
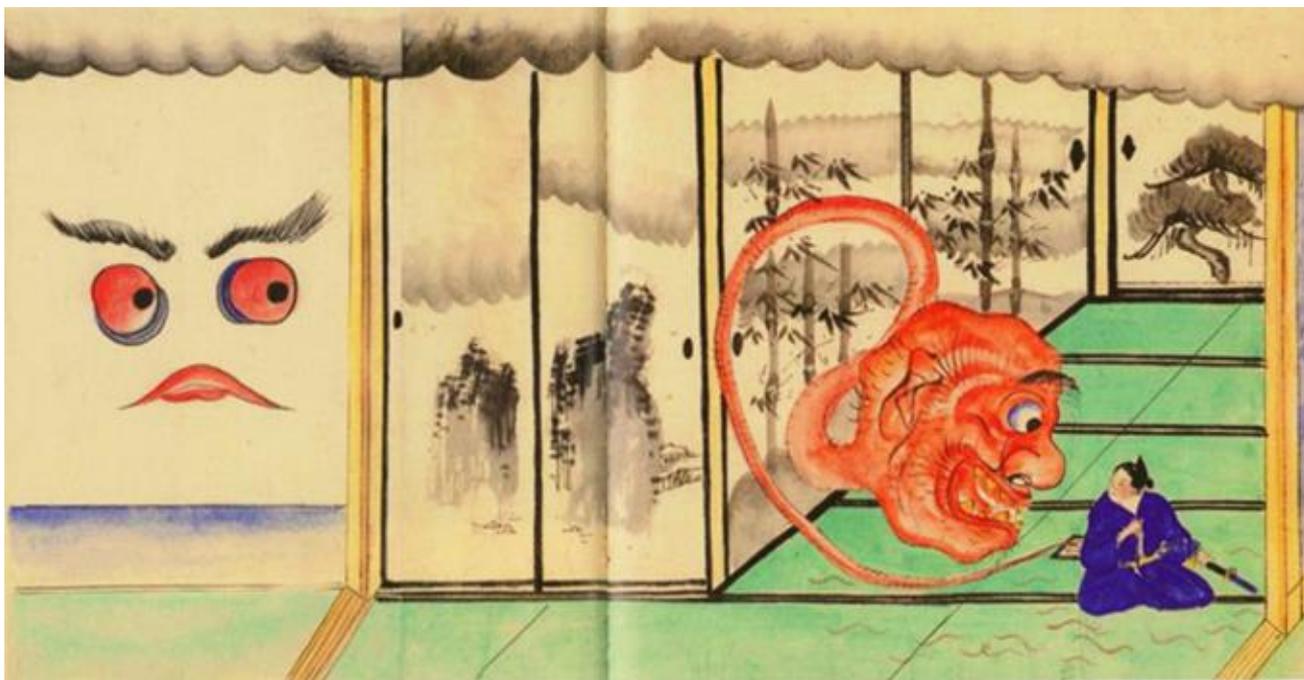
- 学校・家庭・地域を結ぶ地域コーディネーターなど家庭教育支援の施策として

家庭教育支援チーム組織化の検討

第3分科会 事例発表報告



ご清聴ありがとうございました。



三次観光イメージキャラクター
きりこちゃん